

【1】以下の問題に対する答えを1つ選び、番号を記載せよ。

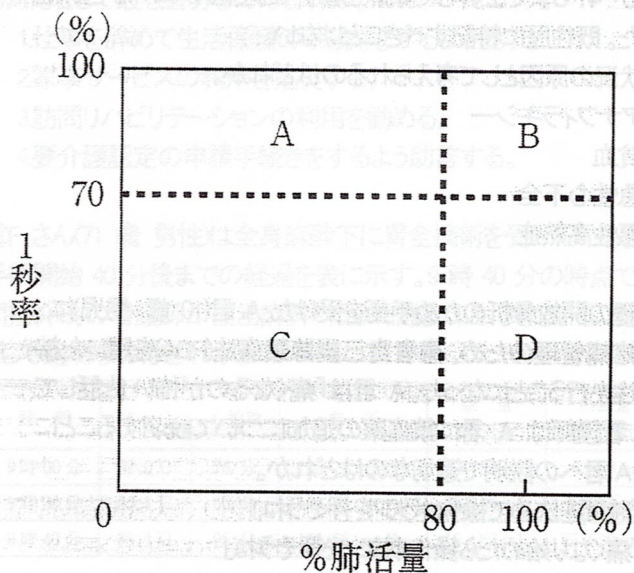
①麻酔科医が活躍している分野について誤っているのはどれか。

- 1.手術時の麻酔管理
- 2.集中治療
- 3.へき地医療
- 4.緩和ケア

②麻酔薬の4つの条件のうち誤っているのはどれか。

- 1.生体反応の抑制
- 2.痛みの消失
- 3.有害反射の抑制
- 4.意識の消失

③スパイロメトリーの結果による換気機能診断図を示す。
閉塞性換気障害と診断される分類はどれか。



1.A 2.B 3.C 4.D

④手術前の患者評価(米国麻酔学会の分類)ASA の PS 分類について正しいのはどれか。

- 1.BMI 36 の肥満患者は“3”である。
- 2.人工透析中の患者は“2”である。
- 3.脳死患者は“3”である。
- 4.高齢患者は“3”である。

⑤午前 9 時搬入予定の手術患者の経口摂取制限について誤ったものはどれか。

- 1.前日の夕食にすき家のキング牛丼を食べた。
- 2.前日午後 11 時にマンゴージュースを飲んだ。
- 3.午前 2 時に粉ミルクを飲ませた。
- 4.午前 8 時に OS-1 を飲んだ。

⑥喫煙による周術期の影響で誤っているのはどれか。

- 1.死亡率などの周術期合併症発生率が増加する。
- 2.創感染のリスクが増加する。
- 3.術後疼痛が増強する。
- 4.麻酔薬の必要量が減少する。

⑦硬膜外麻酔について誤っているのはどれか。

- 1.カテーテルを留置し持続投与しても 48 時間以上は麻酔不可能である。
- 2.脊髄も膜下麻酔と比べて穿刺が困難である。
- 3.効果発現まで 10~15 分以上必要である。
- 4.術後持続投与することで体動時痛にも鎮痛効果がある。

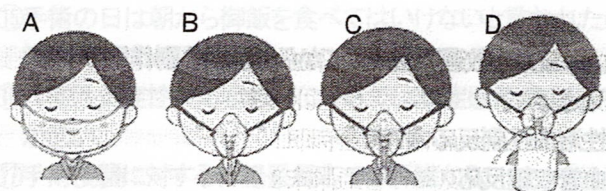
⑧手術中のモニターとして使用しないものはどれか。

- 1.心電図
- 2.呼気ガスモニター
- 3.BIS モニター
- 4.腋窩体温計

⑨全身麻酔後の気管チューブ抜管直後に注意するのはどれか。

- 1.シバリング
- 2.肺塞栓
- 3.覚醒後興奮
- 4.呼吸抑制

⑩次のうち最も吸入酸素濃度が高くなる酸素投与法はどれか。



1.A 2.B 3.C 4.D

⑪体重に対する体内の水分割合の組合わせで誤っているのはどれか。

- 1.成人 — 65%
- 2.小児 — 70%
- 3.高齢者 — 50%
- 4.新生児 — 80%

⑫経腸栄養について正しいものはどれか。

- 1.誤嚥性肺炎のリスクは低い。
- 2.頸静脈栄養法よりも生理的である。
- 3.バクテリアルトランスロケーションが起こりやすい。
- 4.下痢や腹痛などの消化器症状が少ない。

⑬経腸栄養剤の副作用(有害事象)はどれか。

- 1.咳嗽
- 2.脱毛
- 3.血尿
- 4.下痢

⑭栄養支援チーム NST の介入により得られる効果として誤っているものはどれか。

- 1.給食費の大幅削減
- 2.経腸栄養法の増加
- 3.感染症の減少
- 4.在院日数の短縮

⑮生体での水分平衡について誤っているのはどれか。

- 1.不感蒸泄による1日の水分喪失量は約1,000mLである。
- 2.成人の1日平均尿量は2,000~3,000mLである。
- 3.体内の代謝で作られる水分量(代謝水)は成人でおよそ300mLである。
- 4.発熱により不感蒸泄量は増加する。

⑯高カリウム血症で認められるものとして正しいものはどれか。

- 1.心停止
- 2.四肢の麻痺
- 3.けいれん
- 4.麻痺性イレウス

⑰輸液療法で誤っているのはどれか。

- 1.低ナトリウム血症の急速補正は危険である。
- 2.過剰輸液により心不全が起ることがある。
- 3.高カリウム血症の患者に酢酸リンゲル液を輸液した。
- 4.手術中の出血に対して出血量の3倍の酢酸リンゲル液を輸液した。

⑱輸血後、数日から数週間経過してから出現する副作用(有害事象)はどれか。

- 1.即時性溶血性副反応 AHTR
- 2.末梢血管収縮反応
- 3.アナフィラキシー反応
- 4.輸血後移植片対宿主病 PT-GVHD

⑲輸血用血液製剤に分類されるのはどれか。

- 1.免疫グロブリン製剤
- 2.アルブミン製剤
- 3.赤血球製剤
- 4.血液凝固因子製剤

⑳急性期患者の生体反応で誤っているのはどれか。

- 1.サイトカイン分泌が増加する。
- 2.尿量が増加する。
- 3.異化が亢進する。
- 4.血糖値が上昇する。

㉑患者とのコミュニケーションで適切なのはどれか。

- 1.専門用語を用いて説明する
- 2.看護師が伝えたいことに重きを置く。
- 3.できるだけ長い時間会話する。
- 4.否定的感情の表出を受け止める。

㉒緩和ケアの目標で正しいのはどれか。

- 1.疾病の治療
- 2.余命の延長
- 3.QOLの向上
- 4.在院日数の短縮

㉓スピリチュアルペインはどれか。

- 1.早く退院できない。
- 2.治療の副作用に心配がある。
- 3.人生の価値を見失い苦悩する。
- 4.呼吸が苦しい。

㉔Mさん(25歳・女性)は、子宮頸癌のため全身麻酔下で手術中、出血量が多く輸血も行われた。手術開始1時間後、急に体温が41℃まで上昇して頻脈となり、血圧低下・コーラ色尿を認めた。既往歴に特記すべきことはない。

この状況の原因として考えられるのはどれか。

- 1.アナフィラキシー
- 2.貧血
- 3.急性心不全
- 4.悪性高熱症

㉕下腿の開放骨折のため手術を受けたA君(10歳、男児)に、術後疼痛管理のため、患者自己調節鎮痛法(PCA)を用いた持続静注を行うことになった。A君は「痛くなるのが怖い」と話している。看護師はA君に鎮痛薬の追加について説明することにした。A君への説明で適切なのはどれか。

- 1.「時間を決めて操作ボタンを押そうね」
- 2.「痛くなり始めたら操作ボタンを押そうね」
- 3.「痛みが我慢できなくなったら操作ボタンを押そうね」
- 4.「操作ボタンを押すときは看護師さんを選んでね」

㉖78歳の女性。下腹部痛と不正性器出血を主訴に救急外来を受診した。血算でHb 4.5g/dLと高度貧血を認めた。緊急入院し、急いで輸血することになった。血液型はRh(+)・Oである。輸血時の対応で正しいのはどれか。

- 1.同じ血液型・Rh因子なので交差適合試験を行わなかった。
- 2.輸血開始から15分後にアレルギー反応の初回観察を行った。
- 3.点滴セットを用いて輸血した。
- 4.輸血を開始するまで赤血球製剤を2~6℃で保管した。

㉗東九州自動車道で衝突事故が発生し、15人が受傷した。県立日南病院は4人の重症患者を受け入れ、病院内はパニック状態になっている。医療を安全かつ円滑に行うために、救急外

来のリーダー看護師に求められる役割として誤っているのはどれか。

1. チームで患者情報を共有する。
2. 他のスタッフと協力せず独自判断で行動する。
3. 患者誤認が生じないように注意喚起する。
4. スタッフの役割分担を明確にする。

⑳ 次の文を読み問いに答えよ。

Tさん(41歳、女性)は、乳癌の終末期で入院し緩和ケア治療を受けている。倦怠感はあるが食事は摂れている。麻薬による疼痛コントロールも良好である。ふらつきはあるがトイレ歩行はできる。余命3ヶ月と告知されており、退院して自宅で最期を迎えたいと希望している。主な介護者は夫(41歳)で、12歳と8歳の娘がいる。経済的には安定しているが、近隣に親族はいない。

病棟看護師はTさんと夫を交えてカンファレンスを行った。夫は「妻は体力がとて落ちて、見ているのがつらい。病気が進行すると動けなくなると聞きました。子供が2人いて、近くにサポートしてくれる親族もいないので、十分な介護ができるか心配です」と不安を訴えた。Tさんと夫への今後の不安に対する対応として最も適切なものはどれか。

1. 仕事を辞めて生活保護の手続きをするよう促す。
2. 家事サービスの利用を推奨する。
3. 訪問リハビリテーションの利用を勧める。
4. 要介護認定の申請手続きをするよう助言する。

㉑ Fさん(71歳、男性)は全身麻酔下に胃全摘術を受けている。手術開始40分後までの経過を表に示す。9時40分の時点で、間接介助の看護師が担当麻酔科医に確認の上、実施することとして適切なものはどれか。

時刻	体温	心拍数	血圧	尿量 (量/合計)	出血量 (量/合計)
9時00分	37.0℃	76/分	126/76 mmHg	30 / 30 mL	0 / 0 mL
9時20分	36.1℃	80/分	132/76 mmHg	35 / 65 mL	5 / 5 mL
9時40分	35.4℃	96/分	108/68 mmHg	15 / 80 mL	25 / 30 mL

1. 輸血を準備する。
2. 温風式加温装置の設定温度を上げる。
3. 常温の輸液を準備する。
4. 次の尿量測定を1時間後に実施する。

㉒ 次の文を読み問いに答えよ。

Aさん(48歳・女性)は、これまで在宅勤務でほとんど外出することがなく、BMI 38であった。Aさんは久しぶりの出勤の際に転倒し、右大腿骨頸部骨折と診断され、右人工股関節置換術を受けた。術中の出血量は800mLで、輸血は行われなかった。既往歴は高血圧・脂質異常症でCa拮抗薬・スタチン系薬剤を内服している。手術後1日、硬膜外持続鎮痛法が行われており、体動時の痛みもなく、ベッド上リハビリを行っている。バイタルサインは、体温37.5℃、呼吸数15/分、脈拍122/分、血圧98/70mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)98%(室内気下)。Hb7.8g/dL。意識清明、心音および呼吸音に異常なし。頸静脈怒張なし。創部に熱感や発赤を認めない。

このときのAさんのアセスメントで適切なものはどれか。

1. 創部感染のため体温が高い。
2. 全身性炎症性反応症候群を認める。
3. 高度肥満のため経皮的動脈血酸素飽和度が低い。
4. 貧血のため脈拍が速い。

【2】以下の文章の正しいものには○を、誤っているものには×を記載せよ。

- ① 標榜する場合に厚生労働大臣の許可が必要なのは麻酔科のみである。
- ② トリアージタッグは原則として右手に装着する。
- ③ 気管切開時に100%酸素で換気すると、電気メス使用時に発火する可能性がある。
- ④ 集中治療室入室中の患者に左無気肺を認めたため、右側臥位で体位ドレナージを行った。
- ⑤ 気管内吸引には無菌操作が必要である。
- ⑥ 輸血後移植片対宿主病GVHDは、放射線照射済みの血液製剤を使用することで、防ぐことができる。
- ⑦ START法によるトリアージで最初に判定するのは歩行の可否である。
- ⑧ 手術後はできるだけ早く経腸栄養を開始した方が、術後の回復が早い。
- ⑨ 手術侵襲により過度のサイトカイン産生が起こると全身に強い炎症反応が起こる。
- ⑩ 日南串間医療圏2次救急施設で最も救急車を受け入れているのは県立日南病院である。
- ⑪ 全身麻酔下に腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けている患者では、動脈血二酸化炭素分圧PaCO₂が上昇しやすい。
- ⑫ 最近、宮崎日日新聞に顔写真が掲載された同級生がいる。
- ⑬ 抗凝固薬を内服している患者に硬膜外麻酔を行った。
- ⑭ 麻酔科医は手術開始時と終了時にしか手術室内にいない。
- ⑮ 手術の日は朝から御飯を食べてはいけなかったと言われたので、焼きそばを食べた。
- ⑯ 代償性炎症性反応症候群(CARS)では重症感染症のリスクが低い。
- ⑰ 手術侵襲に対する神経系反応では肝臓からレニンが分泌される。
- ⑱ 災害医療では救命困難な患者の治療を優先する。
- ⑲ 癌性疼痛の疼痛コントロールには、麻薬以外の鎮痛薬を使用しない。
- ⑳ 全人的苦痛には体の痛みは含まれない。

■最後まで諦めずにがんばって下さい。

学籍番号 () 氏名 ()

92 / 100

【1】問題に対する答えを 1 つ選び、番号を記載せよ。各 2 点

① 3	② 1	③ 4	④ 3	⑤ 4
⑥ 4	⑦ 1	⑧ 4	⑨ 4	⑩ 1
⑪ 1	⑫ 2	⑬ 4	⑭ 1	⑮ 2
⑯ 1	⑰ 3	⑱ 4	⑲ 3	⑳ 2
㉑ 4	㉒ 3	㉓ 3	㉔ 4	㉕ 2
㉖ 4	㉗ 2	㉘ 4	㉙ 2	㉚ 2

54 / 60

【2】文章の正しいものには○を、誤っているものには×を記載せよ。各 2 点

① ○	② ○	③ ○	④ ○	⑤ ○
⑥ ○	⑦ ○	⑧ ○	⑨ ○	⑩ ○
⑪ ○	⑫ ×	⑬ ×	⑭ ×	⑮ ×
⑯ ×	⑰ ×	⑱ ×	⑲ ×	⑳ ×

38 / 40